

岡山県の倉敷市立上成小学校 高木 尚美 先生から、MEXCBTの活用についてお話を伺いました。

上成小学校では、主に家庭学習の課題として教科や授業の特性に合わせて工夫したMEXCBTの活用をされています。また、記述式の問題にも積極的に取り組まれたり、復習や振り返りを通して学習内容の理解につながりしています。そこで、具体的な活用方法や、今後の展望などを中心にお話を伺いました。

■■■学校HPのURL <https://www.kurashiki-oky.ed.jp/uwanari-e> ■■■

### 1. 校内でどのように、MEXCBTの活用を進めていったか教えてください。

- ・全国学力・学習状況調査のCBT※<sup>1</sup>化に向け、昨年度から自治体でもMEXCBTを活用した学力定着状況確認テストが行われることとなりました。そこで、情報教育担当が、全教員を対象としたMEXCBTの操作方法、利用可能な問題等についての研修を行いました。また、実際に問題を解くことで、活用できそうなテストや場面について共有しました。
- ・子どもたちが操作に慣れることを目的に、家庭学習の課題として毎週末に国語と算数の問題を配信して取り組ませることを統一しました。（4・5・6学年）  
（例）ほっかいどうチャレンジテスト 算数 小学校6年生 角柱や円柱の体積  
ちばっ子チャレンジ100 国語 小学校5年生 ことわざの意味1

### 2. MEXCBTの具体的な活用方法を教えてください。

- ・新単元に入る前の復習として利用し、できるだけ学習のスタートラインが揃うようにしています。（算数）
- ・学習中の単元の問題を配信し復習をすることで、定着を図ることができるようにしています。（算数・理科等）
- ・全国学力・学習状況調査の過去問から、日頃解く機会の少ない記述式の問題を選択して配信し、情報を取捨選択する力を身に付けられるようにしています。
- ・配信した課題の中で、定着していない内容については、朝学習や授業の中で、振り返りをしています。グループで解き方を交流したり、全体で確認したりしています。

### 3. MEXCBTを使ってみての子どもたちの反応を教えてください。

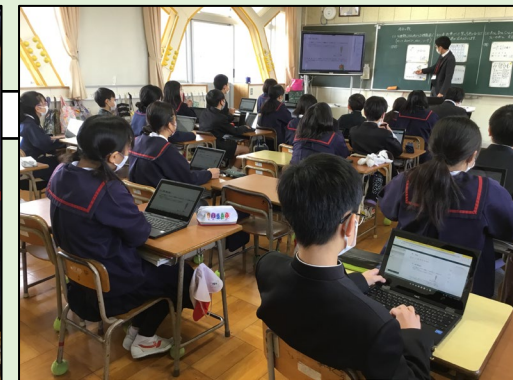
- ・初めは、画面の問題が小さく見えにくく、使いにくいようでしたが、拡大するなどをして次第に慣れてきたようです。
- ・採点が即時に行われるため、間違えた問題をすぐに解き直すことができ、学習内容の理解につながりやすいようです。

### 4. MEXCBTを使ってみての先生等の反応を教えてください。

- ・慣れると配信が簡単で使いやすいです。
- ・採点の必要がないことや、子どもたちの実施状況が把握できることで業務改善につながりました。

### 5. 今後の展望、文科省へのご要望等※<sup>2</sup>ございましたら教えてください。

- ・操作に慣れてきたため、子どもたちの学力向上につながる効果的な活用方法を考えていきたいと思います。
- ・理科や社会の問題を充実させてほしいです。
- ・低学年・中学年でも解ける問題を増やしてほしいです。
- ・全国学力・学習状況調査の大問の中から、記述式問題が含まれている小問などを選択して配信できるように改善してほしいです。
- ・記述式の問題については、自分で正誤を判断することが難しいため、正答例だけではなく正答の条件を示してほしいです。



※1 CBT=Computer Based Testing コンピュータを使用した調査。

※2 文部科学省では、いただいたご意見やご要望を参考に、順次、MEXCBTの改善を進めています。